



E D E L W E I S S



《平成28年度》

<平成28年度> 役員紹介

会長：川野 はるか

副会長：池内 友美 / 齋藤 広晴

会計：五十嵐 裕美 / 塚原 瞳

書記：安藤 みなみ / 羽月 亮平 / 宮崎 美沙

至誠会看護専門学校 卒業生の皆様におかれましては、益々のご健勝・ご活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。

至誠会看護専門学校は、平成25年度より3年課程となり、平成28年3月、3年課程 第一回生(第24回生)が卒業致しました。今年度、私たち一回生が役員を引き継ぎ、前年度まで発行しておりました同窓会会報「エーデルワイス」から、こちらの学校ホームページの同窓会リンクへと移行させていただきました。尚、前年度まで会報に掲載しておりました、会計報告・活動内容の報告に関しましては、総会のお知らせと同封し送付させていただきます。

同窓会では、今後も学校・学生と卒業生の皆様を結ぶ役割を担ってゆきたいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度のテーマは、『看護師一年目の思い』です。3年課程 第1回生が、新たに看護師として働き始めて、感じたこと、大変なこと、学んだこと、看護への思い…等を、掲載させていただきました。まだまだ知識も技術も経験も未熟な私たちですが、一人前の看護師、自分自身の思い描く理想の看護に向けて、今後も日々精進してまいりたいと思います。

平成28年度 同窓会 会長：川野 はるか

テーマ 『看護師一年目の思い』

私の所属している W2 病棟では、整形外科のため、骨の手術・リハビリ目的で来られる患者様が多いです。そのため私たちは、病棟でも患者様の安全を守りながら一緒に歩行練習をして、一日でも早く元気になって帰れるよう援助しています。入院当初は全く動けない患者様も、退院時は笑顔で歩いて帰られる方が多いため、この一年間とてもやり甲斐を感じました。まだまだ勉強不足で怒られることも多いですが、日々いろいろな事を吸収できて楽しいです！

至誠会第二病院 W-2 病棟 萩野 早也花

W3 病棟では、術前・術後看護、終末期、化学療法など幅広く学ぶことができます。入退院も多く毎日バタバタとしていますが、一つ一つの業務を確実にこなすことはもちろん、患者さんとの関わりも多く持つように意識して働いています。患者さんに名前を覚えてもらっていたり、外来では話しかけられたりと、そういったことがとても嬉しく、やりがいを感じています。

至誠会第二病院 W-3 病棟 高田 美幸

私達が働いている病棟では、神経内科・循環器・泌尿器を主に看ています。神経内科では、疾患により麻痺や痺れなどで日常生活動作が困難な患者さんに看護をしています。循環器では、心臓系の疾患を扱うので生死に関わる重症の患者さんも多いです。泌尿器科では、20～80代と年齢層が幅広く、手術療法や化学療法などで継続的に治療をしています。日常生活の介助をしながら薬剤や飲水量、尿量、心電図を継続的にモニタリングしたりと管理することが多いです。また、羞恥心への配慮や精神的な関わりは欠かせません。難しさを感じることはありますがやりがいはとても大きいです。患者さんの笑顔や「ありがとう」という一言で、また頑張ろうと励みにもなっています。

至誠会第二病院 W-4 病棟 宮川 遥 / 望月 蛍

産婦人科では、外来・病棟・ベビー室・分娩室での業務があり、覚えることがたくさんで、配属から7ヶ月経った今でもまだまだ一人前になるにはほど遠い感じですが、少しずつではありますが一人で出来ることも増えてきて、仕事への自信もつき始めてきました。出産という人生の大イベント、生命の誕生の瞬間に立ち会えることは大変喜ばしく、仕事のやりがいを感じられるようになってきました。しかしながら、妊娠・出産に関するトラブルは想像以上に多く、命の大切さ、自分の責任の重さを実感しています。まだまだ学ぶことは多く、時に弱音を吐きたくなることもありますが、かわいい赤ちゃんに癒されながら頑張っています。

至誠会第二病院 C-2 病棟 江口 由真 / 坂本 汐里 / 平松 由紀子

自分の看護師としての知識・技術の未熟さを感じる毎日ですが、先輩方からの御指導・サポートを頂きながら日々学んでいます。消化器内科病棟では、症状の悪化や治療のために食事がとれない状態にある患者さんへの説明や配慮が重要であると感じ、心身の苦痛に気づき寄り添うことのできる看護を提供できるよう頑張っています。

至誠会第二病院 C-3 病棟 境 勇樹

C4 病棟は糖尿病内科と神経内科の患者さんが入院しています。血糖測定や糖尿検査なども行い、介護度の高い方や認知症の患者さんを含め、ケア中心の看護を行っています。食事・運動・薬物療法を学ぶことができる糖尿病教室などを通し、退院後も生活の中で血糖コントロールが出来るような関わりをしています。ケアが多い分、身体的にきついと思うこともありますが、患者さんと過ごす毎日の変化や感謝の言葉に励まされ、充実感ややりがいを感じています。

至誠会第二病院 C-4 病棟 池内 友美 / 権守 美咲 / 齋藤 広晴 / 鈴木 愛理

S4 病棟では主に脳神経外科と泌尿器科の患者さんが入院しています。入職してみると、本当に忙しく、勉強もなかなか追いつかない日々で、毎日とても大変です。しかし、経管栄養・吸引・口腔ケア・オペ出し・術前術後の看護など、他の病棟であまりできないことも頻回に経験できる環境で、毎日学ぶことがたくさんあります。手術の前後やりハビリの成果などで、患者さんの回復が見えた時には、あらためて看護の素晴らしさを感じます。また、嚥下障害・麻痺・失語の患者さんが多く、一つ一つの技術やケアの難しさと大切さを実感しています。疾患のために麻痺等の障害を抱えながら退院・転院される方も多く、ADL の拡大に向けた看護や退院調整にも力を入れている病棟なので、やりがいを感じ、とても勉強になります。まだまだ、わからないことやできないことだらけで不安も多いですが、これからも知識や技術を学び続け、尊敬する先輩方に早く近づきたいです！そして、毎日笑顔を絶やさずに頑張ります！

至誠会第二病院 S-4 病棟 安藤 みなみ / 川野 はるか

私たちは、4月から手術室看護師として働いています。手術室は、一般的な医療の知識は勿論、より専門的な知識や技術が求められる場だと感じています。解剖生理から手術の手順、様々な科で用いられる器械の名称や使用方法等、日々勉強に努めています。また、手術室では、病棟とは異なる様々な点があります。病棟よりもチームで働く達成感があると思います。医師・麻酔科医・病棟看護師・臨床工学技士など、種々の職種と連携して、一つの手術に対してプロフェッショナルとして最善を尽くしています。さらに、病棟では2交代制で夜勤があるのに対し、手術室ではオンコールという業務体制によって緊急手術に対応しています。その為、日々緊張感を持って仕事ができます。

まだまだ、看護師として半人前ですが、手術室のスタッフとして日々やりがいを感じつつ仕事できています。

至誠会第二病院 OPE 室 小林 洋佑 / 佐々木 稜 / 新海 雄大

私は看護師になって、オペ室配属になりました。希望部署とは異なり最初は戸惑いましたが、患者さんが手術を受ける過程がどれだけ大事で、安心安全に手術ができるよう看護師が行わなければいけない、清潔操作の大切さや清潔不潔の区別を学ぶことが出来ています。また、術後の侵襲や合併症を減らすためにも術中の管理などをして体位を考えたり工夫することも手術室看護師の重要な仕事であることが学んでいます。看護師＝病棟のイメージも強いですが、他の場面でも活躍できる場はあります。学生のみなさんと将来一緒に働けることを期待しています。頑張ってください。

都内 N 病院 OPE 室 木内 星伽

※平成 29 年 3 月より、至誠会第二病院のリノベーションに伴い、各病棟の担当する科が一部変更になっており、掲載内容と現在の部署の内容に若干の相違がございます。